

各位

上場会社名 三井海洋開発株式会社
代表者 代表取締役社長 宮崎 俊郎
(コード番号 6269)
問合せ先責任者 執行役員 経営企画部長 高野 育浩
(TEL 03-5290-1200)

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向、及び平成25年12月期の決算において保有する債権並びに資産について以下のとおり処理する方針を決定したことにより、平成25年2月15日に公表し平成25年8月8日に修正した平成25年12月期(平成25年1月1日～平成25年12月31日)の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成25年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	220,000	4,000	11,000	6,500	140.06
今回修正予想(B)	250,000	4,000	15,500	4,900	105.59
増減額(B-A)	30,000	—	4,500	△1,600	
増減率(%)	13.6	—	40.9	△24.6	
(ご参考)前期実績 (平成24年12月期)	168,891	3,470	9,296	5,130	110.56

修正の理由

1. 業績予想の修正

浮体式石油生産貯蔵積出設備(FPSO)の建造工事の進捗が予想を上回ったこと、及び想定為替レート(95円/ドル)を上回る円安で推移したことなどにより、売上高の予想を上方修正いたしました。また、外国為替相場の変動による外貨建て資産の期末評価益が約40億円見込まれることなどにより、経常利益の予想についても上方修正いたしました。当期純利益につきましては、次項のとおり特別損失を計上することとしたため、下方修正いたしました。

2. 特別損失の計上

(1) 固定資産の減損処理

当社が建造中の浮体式潮力・風力ハイブリッド発電システムskwidにつきましては、現時点では電力の買取価格の見通しが不透明であることなどにより、保守的に算出した将来キャッシュフローが帳簿価額を下回るため、「固定資産の減損に係る会計基準」に従って約23億円の減損損失を計上することといたしました。

(2) 未収入金の貸倒引当処理

当社は、平成23年7月にブラジルの石油開発会社であるOSX Brasil S.A.の子会社OSX 3 Leasing B.V.より、FPSO(Floating Production, Storage & Offloading System:浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備)の建造契約を受注しておりますが、客先の関係会社が会社更生法を申請したことを勘案し、今後回収予定の約16億円の売上債権に係る貸倒引当金を計上することといたしました。

(注)上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上